

S500 ソフトインストール用アプリケーション

# WRITE-III

取扱説明書

## 目次

1. ソフトの入手方法.....	3
2. 「WRITE-III」のインストール.....	3
3. 「WRITE-III」使用方法.....	5
3-1 S500 とパソコンの接続.....	5
3-2 S500 本体の準備.....	8
3-3 パージョンアップ、新規ソフトウェアの解凍.....	9
3-5 WRITE-IIIの操作.....	10
WRITE-IIIの操作 起動.....	10
WRITE-IIIの操作 使用者情報の書込み.....	12
WRITE-IIIの操作 ソフトウェアのインストール.....	13
WRITE-IIIの操作 OSファイルのインストール.....	17
4. 「WRITE-III」のアンインストール(削除).....	21
付録.....	22
展開ウィザード(ZIPファイルの解凍Windows XPの場合).....	22

## 1. ソフトの入手方法

S500 ソフトインストール用アプリケーション「WRITE-III」(以下 WRITE-III)はインターネットを使用し、ダウンロードしてお使いいただけます。もし、インターネット接続環境がないお客様へは CD-ROM 版をお送りいたします。

## 2. 「WRITE-III」のインストール

### ファイルの準備

ダウンロード(CD-ROM 版は CD-ROM 内)したファイルを解凍します。

Windows XP で解凍ソフトがインストールされていない場合は付録の展開ウィザードを参照してください。(P.12)

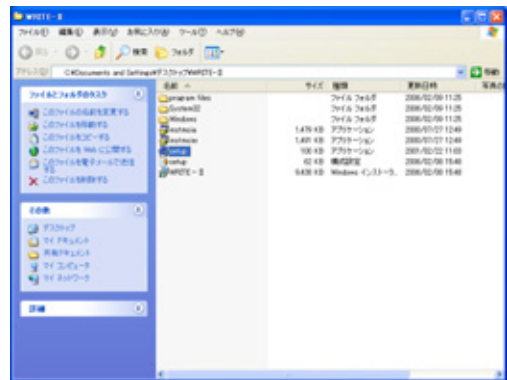
Windows XP 以前または、解凍ソフトがインストールされている場合はアイコンが異なります。



WRITE-III.zip

### 解凍後のフォルダ内

解凍したフォルダの内容を見ると右のようになっています。「setup.exe」をダブルクリック(又は右クリック-開く)してセットアップを開始します。



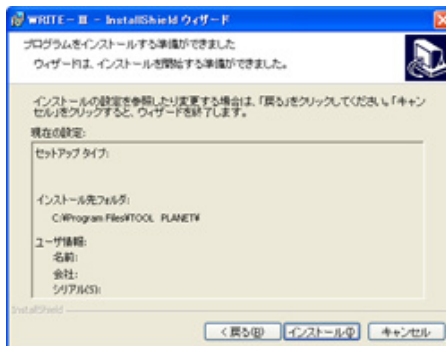
### インストール 1

お使いのパソコンに「WRITE-III」をインストールします。  
[次へ(N)]をクリックします。



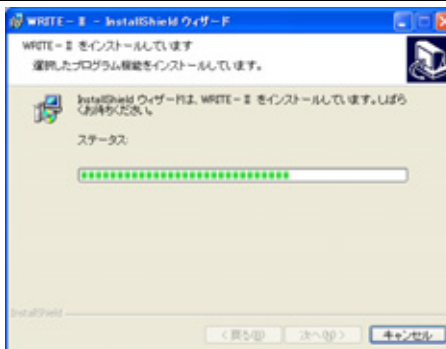
### インストール 2

インストール先フォルダを確認して[インストール(I)]をクリックします。



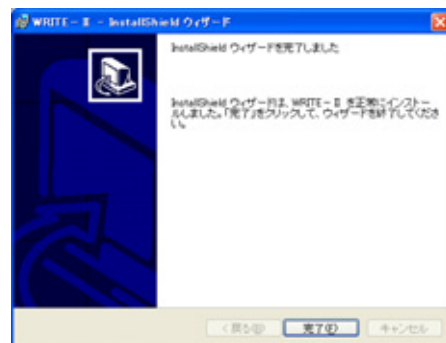
### インストール 3

パソコンにファイルをコピーしています。



### インストール 4

インストールが完了しました。[完了(F)]をクリックして完了します。



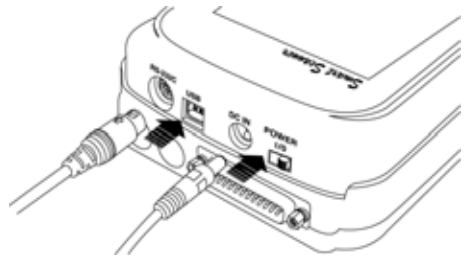
## 3. 「WRITE-III」使用方法

### 3-1 S500 とパソコンの接続

#### RS232C 接続の場合

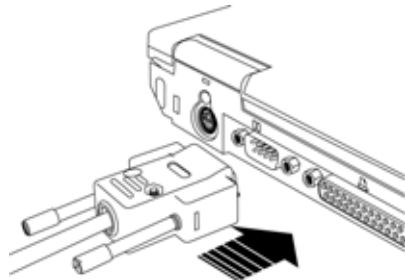
##### S500にケーブルを接続する

S500 本体に接続ケーブル(S500-232C-C)とAC電源アダプター(S500-AC-C)を接続します。AC電源アダプター(S500-AC-C)の片側をACコンセントに接続します。本体USBコネクタは現在使用できません。「RS-232C」と書かれた型コネクタを使用します。



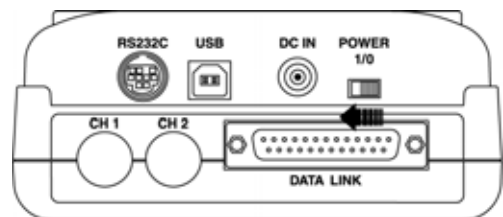
##### パソコンにケーブルを接続する

接続ケーブル(S500-232C-C)をパソコンに接続します。パソコンにシリアルポート(RS-232C 9ピンポート)が装備されていないパソコンの場合は、市販のUSB変換ケーブルもお使いいただけます。その場合、USB変換ケーブルのドライバーをインストールして、ポートの確認をしてください。



##### 電源スイッチを入れる

S500の電源スイッチで電源を入れます。

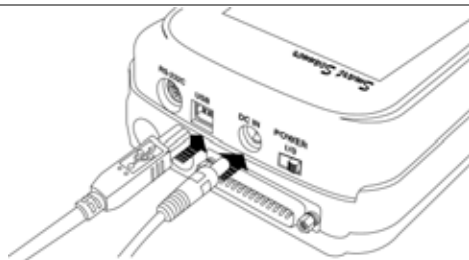


## USB 接続の場合

USB 接続の場合、WINDOWS 用ドライバーのインストールが必要になります。

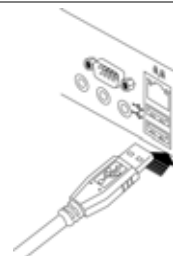
### S500にケーブルを接続する

S500 本体に接続ケーブル(USB-CABLE)と AC 電源アダプター (S500-AC-C)を接続します。AC 電源アダプター (S500-AC-C)の片側を AC コンセントに接続します。



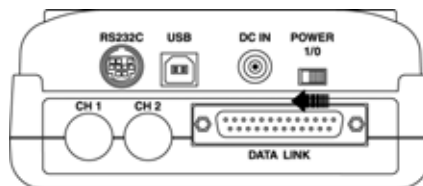
### パソコンにケーブルを接続する

接続ケーブル(USB-CABLE)をパソコンに接続します。



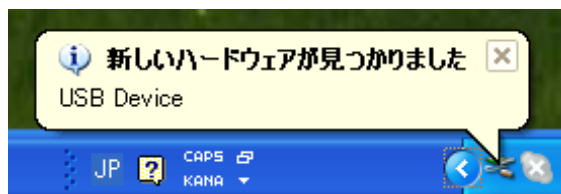
### 電源スイッチを入れる

S500 の電源スイッチで電源を入れます。



### パソコンの OS が S500を発見します。

S500 を電源を入れた状態で接続すると、パソコンの OS が S500 を発見してドライバーのインストールウィザードがはじまります。



### USB ドライバーのインストール開始

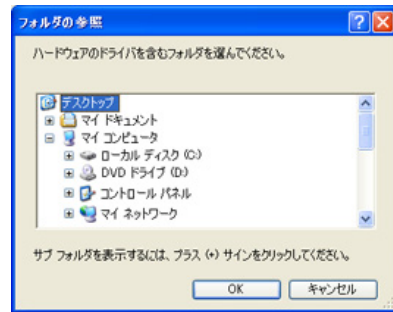
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が始まり、USB ドライバーをインストールします。

「一覧または特定の場所からインストール(詳細)(S)」をクリックして「次へ」をクリックします。



### ドライバーの選択

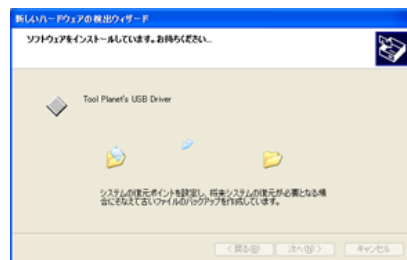
「フォルダの参照」ウィンドウが表示されます。  
ドライバーのある場所を選択して「OK」をクリックします。



Windows がドライバーを探します。

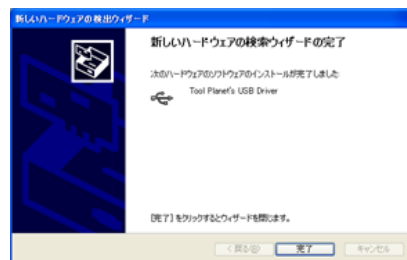


ファイルのインストールが開始されます。

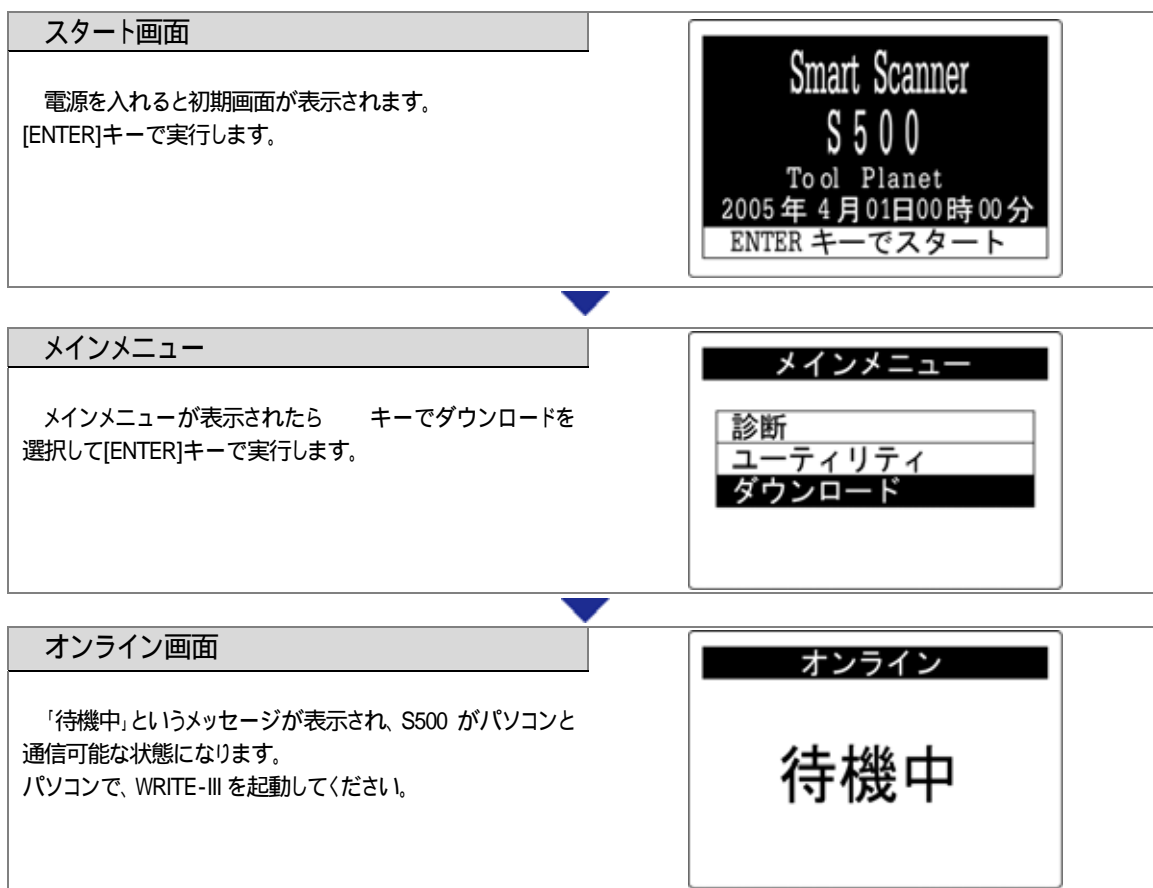


### インストール完了

インストールが完了しました。




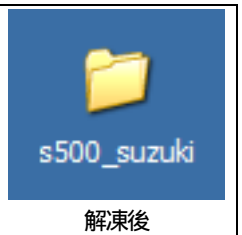
## 3-2 S500 本体の準備








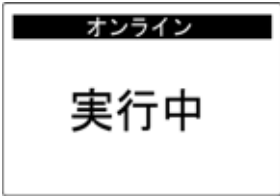


### 3-3 バージョンアップ、新規ソフトファイルの解凍

S500 に関する OS、診断ソフトウェアのファイルは、弊社ホームページよりダウンロードできます。(会員専用) サポート会員に入会されない場合は CD-ROM にてお送りいたします。

ファイルの解凍		
<p>メールでリクエストすると、ソフトファイルがメールで送られてきます。こちらからお送りするファイルは全て圧縮 (ZIP) ファイルになっています。</p> <p>Windows XP 以外の Windows では標準で ZIP ファイルの解凍が行えません。解凍が行えない場合は別途解凍ソフトが必要です。</p>	 <p>s500_suzuki.zip</p> <p>解凍前</p>	 <p>s500_suzuki</p> <p>解凍後</p>
<p>上記アイコンは Windows XP の標準アイコンです。解凍ソフトなどによりアイコンが違う場合があります。</p>		

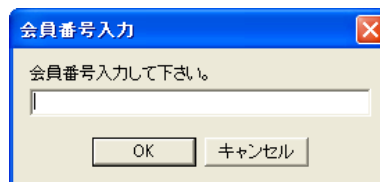
APPDL ファイル	
<p>解凍が完了するとフォルダの中に右のような S500 用ソフトファイル (APPDL ファイル) が表示されます。</p> <p>圧縮されたまま (ZIP ファイル) では S500 へのインストールはできません。</p>	 <p>s500_suzuki.AP PDL</p>

### 3-5 WRITE-III の操作

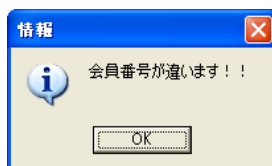
WRITE-III の操作 起動	
<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">1.アプリケーションのスタート</div> <p>インストールが終了した時点で、デスクトップに右のようなアイコンが作成されます。ダブルクリック(右クリック 開く)で「WRITE-III」をスタートします。</p>	
<div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; border: 1px solid black; margin-bottom: 5px;">2.通信ポートの選択</div> <p>S500 が接続されているパソコンのポートを設定します。USB 接続の場合は USB をクリックして[OK]をクリックします。また、RS232 ポートを使用する場合は通信ポートを選択して[OK]をクリックします。</p> <p>S500 との通信が可能になると、S500 の画面が「実行中」にかわります。</p>	<div style="margin-bottom: 10px;"> <p>パソコン画面</p>  </div> <div> <p>S500 画面</p>  </div>
<p>接続エラー：S500 に電源が入っていない場合や接続ポートが違う場合は下のようなエラーが表示されます。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; width: 200px;"> <div style="background-color: blue; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">エラー</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p style="color: red; font-weight: bold; margin: 5px 0;">応答がありません！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 60px; margin: 0 auto;">OK</div> </div> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; width: 200px;"> <div style="background-color: blue; color: white; padding: 2px; text-align: center; font-weight: bold;">エラー</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p style="color: red; font-weight: bold; margin: 5px 0;">実行を継続することが出来ません！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 60px; margin: 0 auto;">OK</div> </div> </div> </div>	

## 3.会員番号の入力

“会員番号”は S500 本体裏にある“ID”を入力します。



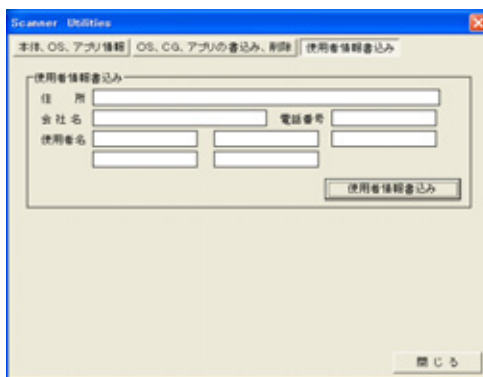
入力エラー: 会員番号 (ID) が S500 本体の番号と一致しない場合に下のようなエラーが表示されます。



## WRITE-III の操作 使用者情報の書込み

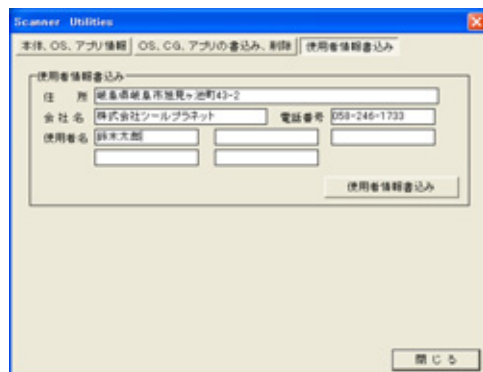
### 1.使用者情報の書込み

[使用者情報の書込み]をクリックすると、S500 本体に使用者の情報を書込む事ができます。



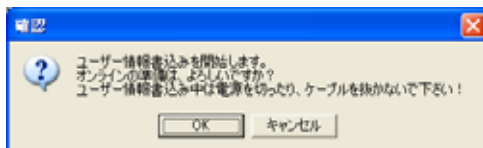
### 2.書込み

使用者情報に必要事項を入力、確認し、[使用者情報書込み]ボタンをクリックします。



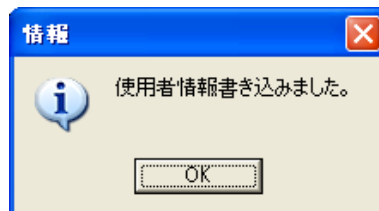
### 3.書込みの確認

使用者情報を S500 に書込みます。  
準備が整いましたら[OK]をクリックします。



### 4.書込み完了

使用者情報の書込みが完了しましたら右のようなウィンドウが表示されます。  
[OK]をクリックします。



## WRITE-III の操作 ソフトファイルのインストール

### 1.書き込み用アプリの選択

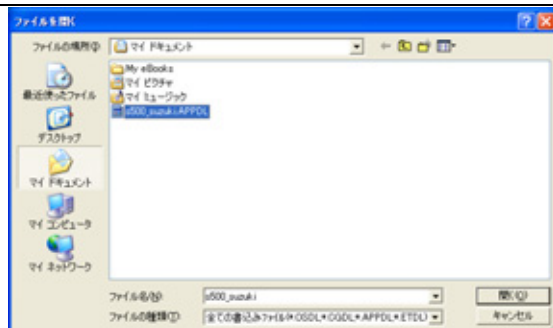
S500 にインストールするソフトファイルを選択します。  
[ソフトファイルの選択]ボタンをクリックします。



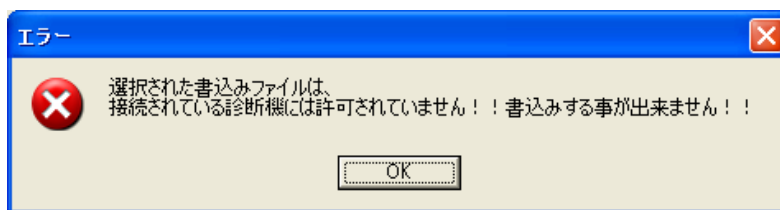
### 2.書き込み用アプリを開く

インストールするファイルを選択して[開く(O)]をクリックします。

インストールするファイルはこちらからお送りしたファイルです。CD-ROMでお送りした場合はCD-ROMの中あります。事前に解凍作業が必要です。

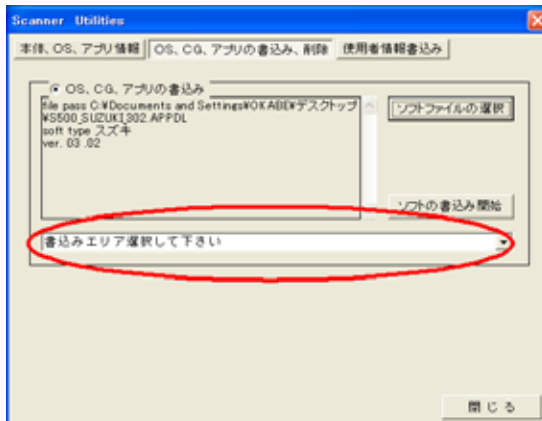


エラー：S500 の ID とファイルの情報不一致の場合に下記のエラーが表示されます。



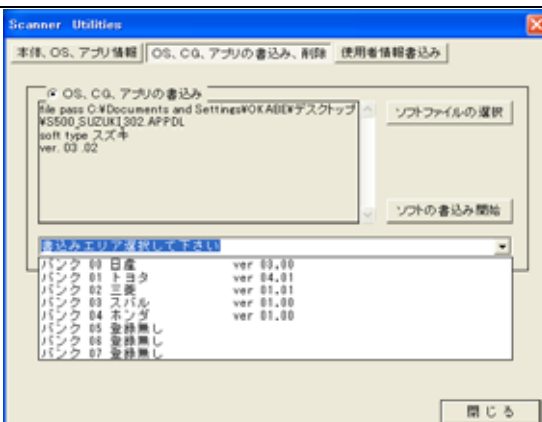
### 3.書込みエリアの選択

「2.書込み用アプリを開く」でインストールファイルを選択すると、書込みエリア(バンク)選択メニューが表示されますので、本体のどのエリア(バンク)にソフトをインストールするかを選択します。

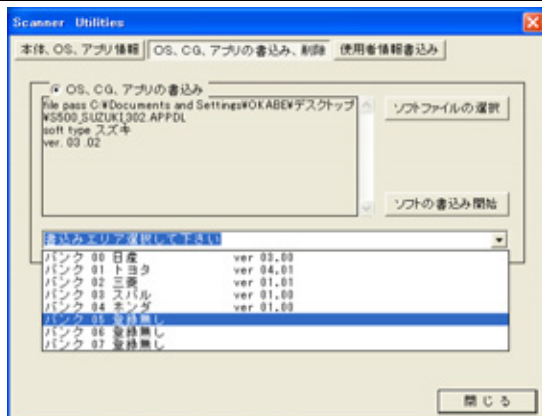


をクリックすると、S500 本体のエリアが表示されます。

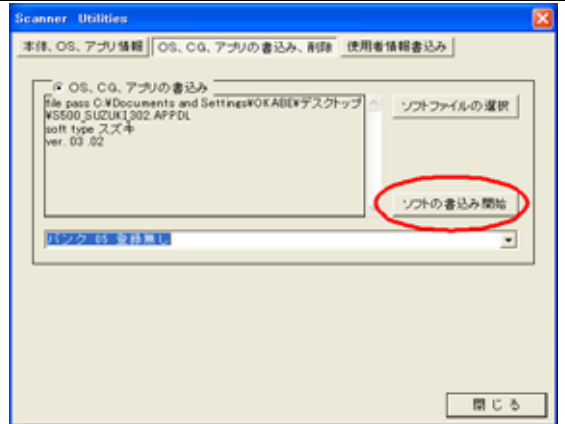
修正版、バージョンアップなどの場合は、選択したソフトのエリア(バンク)を選択してください。(この場合、ソフトは新しいバージョンに上書きされます。)また、新規のソフトの場合は「登録無し」のエリア(バンク)を選択してください。



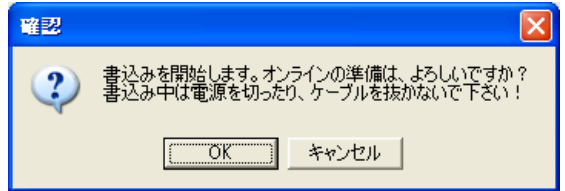
今回インストールするエリア(バンク)をクリックします。



画面が戻り、選択したエリア(バンク)が表示されたら「ソフトの書き込み開始」をクリックします。

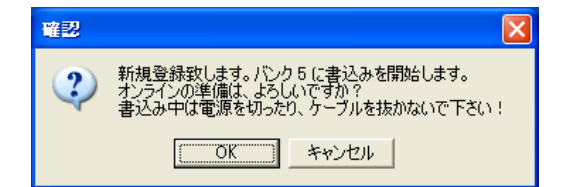


書き込みの確認です。  
S500 の画面は「待機中」である事を確認して「OK」をクリックします。



#### 4.書き込み中の注意

書込む前にパソコンで違う作業を行っている場合は、全て終了してください。確認後[OK]をクリックします。  
(上書きの場合は「書き込みが」が「上書き」と表示されます。)



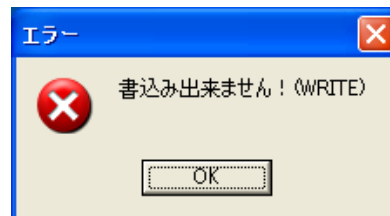
#### 5.書き込み中

書き込み中はパソコンでの作業は行わないでください。他の作業を開始したりすると書き込み作業が中断してソフトが停止してしまいます。



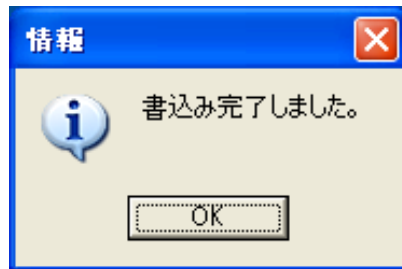
—グラフが止まって動かなくなった場合はなんらかの原因で通信が遮断された可能性があります。WRITE-III を終了して初めからやり直してください。

エラー：S500 に電源が入っていない場合や接続ポートが違う場合は下のうなエラーが表示されます。



### 6.書き込み完了の確認

書き込みが完了すると右のようなウィンドウが表示されます。[OK]をクリックします。



### 7.書き込みログの表示

書き込みが完了すると、「Scanner Utilities」が先程行った作業を表示します。書き込みが正常に終了している事を確認してください。



### 8.本体情報の確認

[本体 OS、アプリ情報]でインストールしたソフトファイルが正確に表示されているか確認します。

[閉じる]ボタンをクリックして終了します。

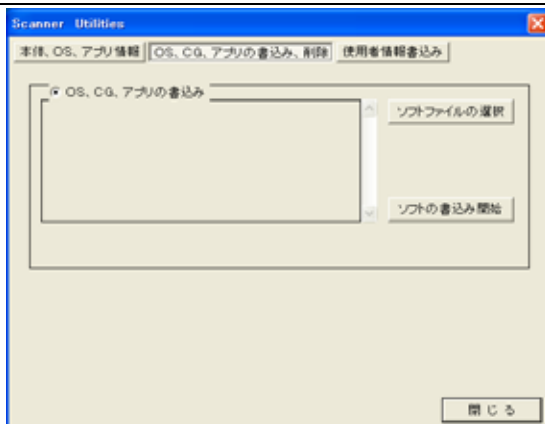




## WRITE-III の操作 OS ファイルのインストール

## 1.書き込み用アプリの選択

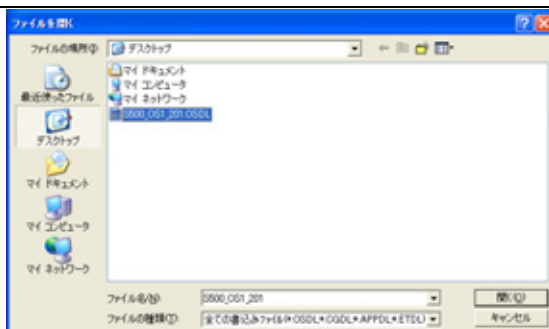
S500 にインストールするソフトファイルを選択します。  
[ソフトファイルの選択]ボタンをクリックします。



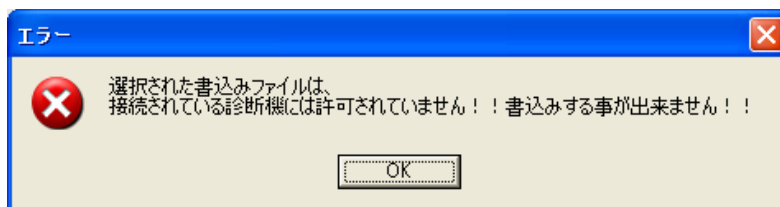
## 2.書き込み用アプリを開く

インストールするファイルを選択して[開く(O)]をクリックします。

インストールするファイルはこちらからお送りしたファイルです。CD-ROM でお送りした場合は CD-ROM の中にあります。

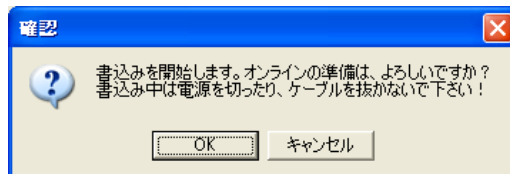


エラー：S500 の ID とファイルの情報が一致しない場合に下記のエラーが表示されます。



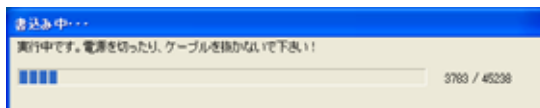
## 3.確認

S500 の準備「パソコンとの接続」(P.5 参照)を確認して接続が正しければ[OK]をクリックします。



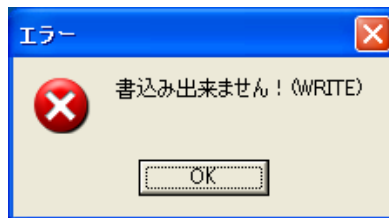
### 5.書き込み中

書き込み中はパソコンで他の作業は行わないでください。他の作業を開始したりすると書き込み作業が中断してソフトが停止してしまいます。



プログレフが止まって動かなくなった場合はなんらかの原因で通信が遮断された可能性があります。WRITE-III を終了して初めからやり直してください。

エラー : S500 に電源が入っていない場合や接続ポートが違う場合は下のうなエラーが表示されます。



### 6.書き込みデータ転送完了の確認

「書き込みデータ転送完了の確認」が表示されます。[OK]をクリックします。

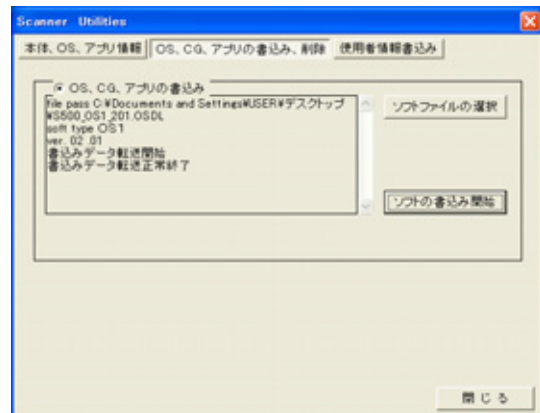
同時に S500 への書き込みが開始されます。(P.15 参照)



「書き込みデータ転送ログ」を表示します。転送が正常に終了している事を確認してください。

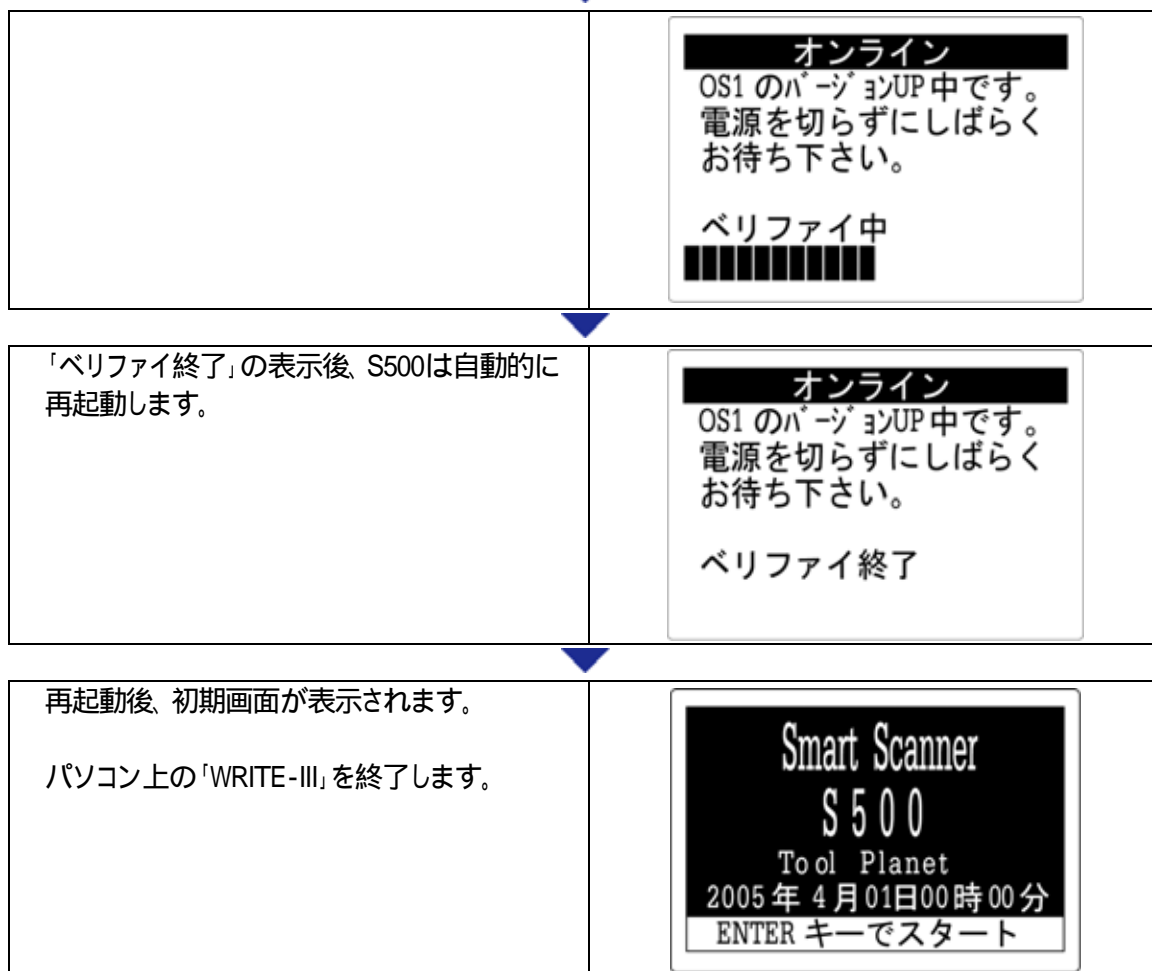
S500 は書き込み作業中です。

S500 本体を確認して、S500 が再起動して初期画面になっている事を確認して[閉じる]をクリックします。



パソコン上で書き込みが完了が表示されても、S500 本体は作業を終了していません。S500 本体は作業が終了すると自動的に再起動します。S500 本体が作業を終了するまで、「WRITE-III」を終了(閉じるボタン)しないでください。





## 4. 「WRITE-III」のアンインストール(削除)

プログラムのアンインストール

Windows XP の場合

[スタート]->[コントロールパネル]->[プログラムの追加と削除]から削除してください。

Windows 2000 の場合

[スタート]->[設定]->[コントロールパネル]->[アプリケーションの追加と削除]から削除してください。

## 付録

### 展開ウィザード (ZIP ファイルの解凍 Windows XP の場合)

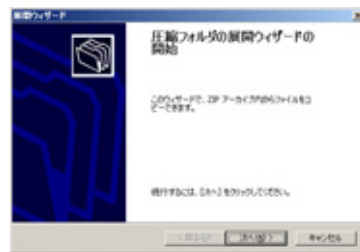
#### 展開の開始

ファイルをリックすると、右のようなメニューが表示されます。[すべて展開(A)]をクリックすると「展開ウィザード」が開始されます。



#### 圧縮フォルダの展開ウィザードが開始

[次へ(N)]をクリックします。

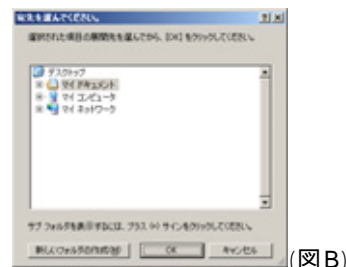


#### 展開先の場所

ウィンドウが変わり(図A)、展開(解凍)する場所を確認します。[参照(B)]をクリックすると図Bのようなウィンドウが表示され展開する場所を変更できます。変更がなければ[次へ(N)]をクリックします。



(図A)



(図B)

#### 展開の終了

展開(解凍)が終了しました、中段の「展開されたファイルを表示する(H)」をクリックを入れて[完了]をクリックするとウィンドウを閉じたあと展開したファイルが表示されます。

